

2023年6月13日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2023年3月、4月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概要

| | |
|-------------------------------|------------------------|
| 全国景気* | 緩やかに回復している |
| 長野県内景気 | 持ち直しの動きに弱さがみられる |
| 3月の生産動向 | 生産は足踏みがみられる |
| 4月の個人消費 | 乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る |
| 4月の公共投資 | 公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る |
| 4月の住宅投資 | 新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を下回る |
| 4月の雇用情勢 | 有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る |
| 今後は、物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある | |

※内閣府「月例経済報告(2023年5月)」より

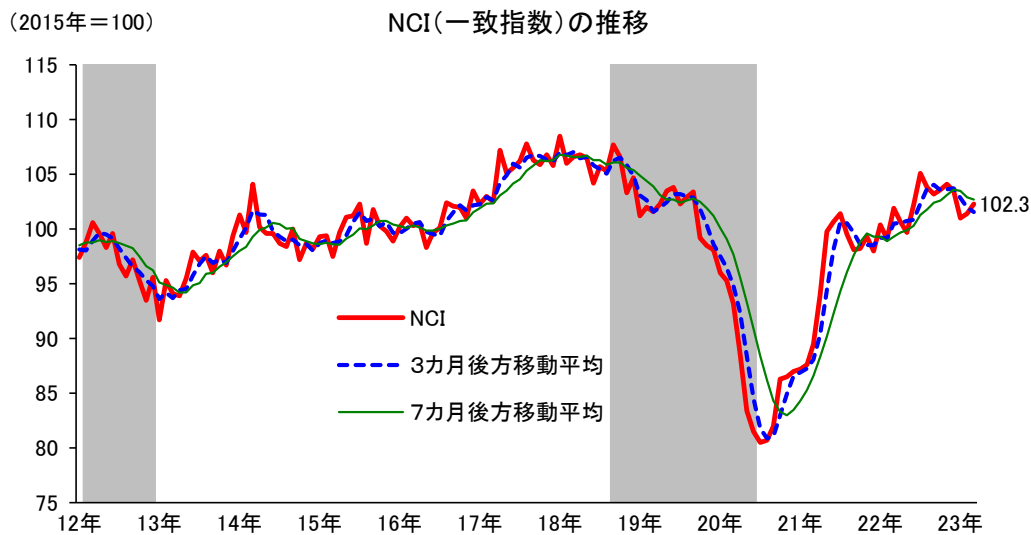
照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部
担当 桑井、伊東
電話 026-224-0501

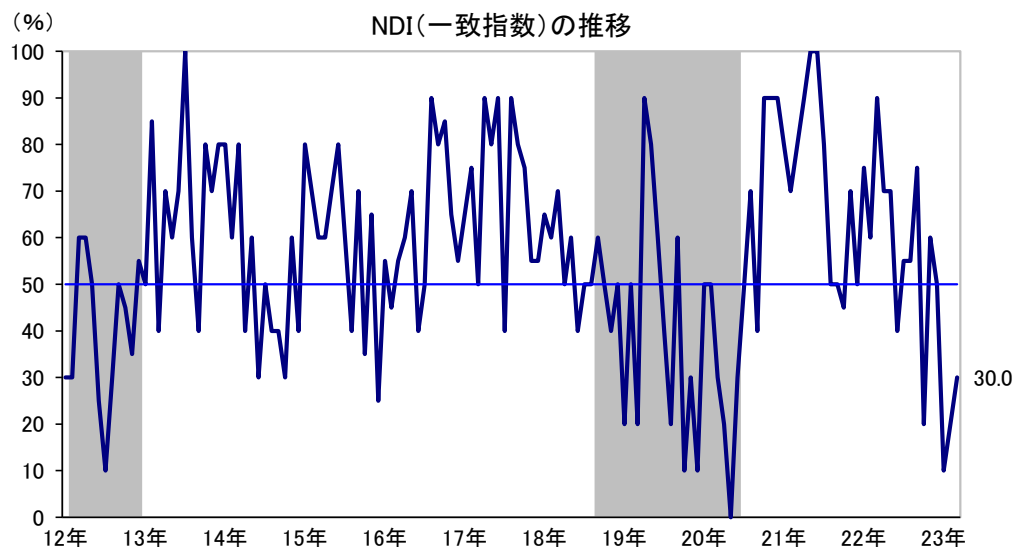


景気動向指数

- ・3月のNCI(一致指数)は、102.3と前月と比較し+0.9ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.4ポイントと3カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと3カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、30.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を3カ月連続で下回った。



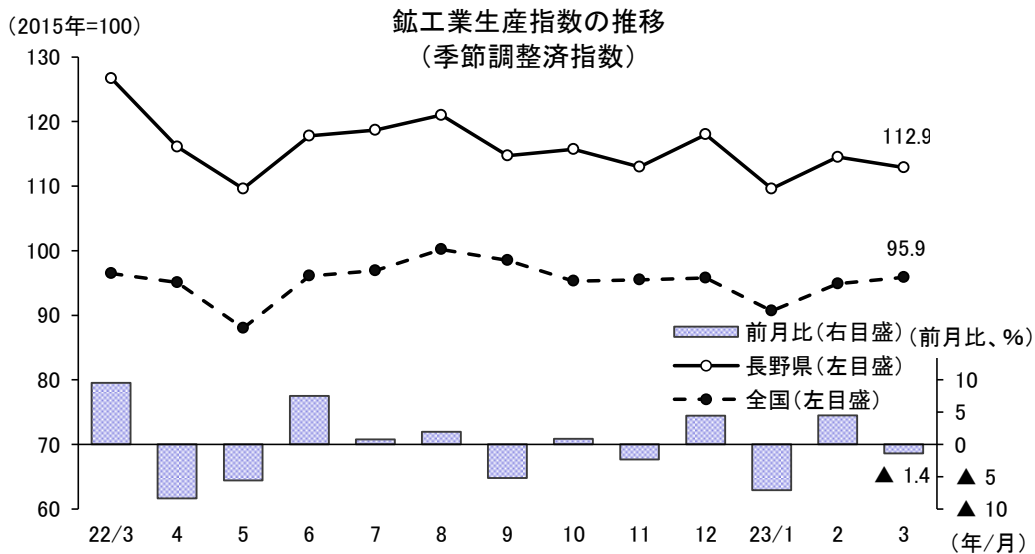
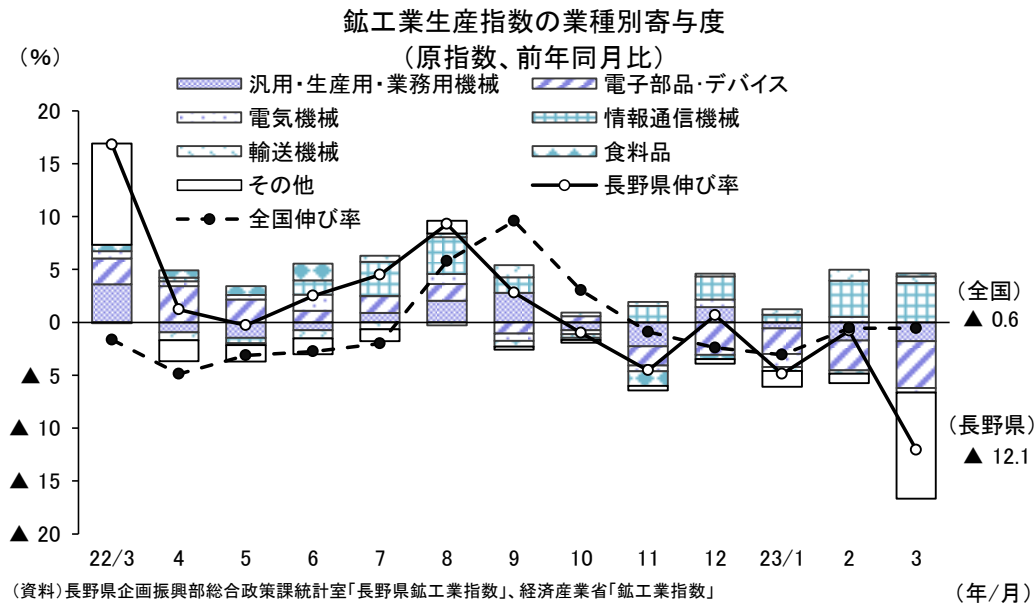
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

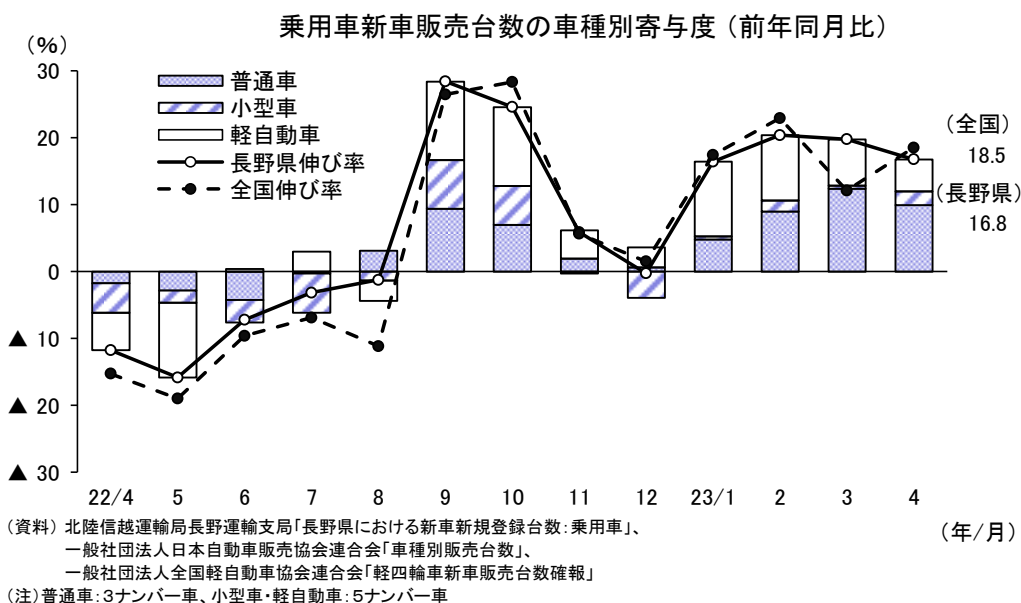
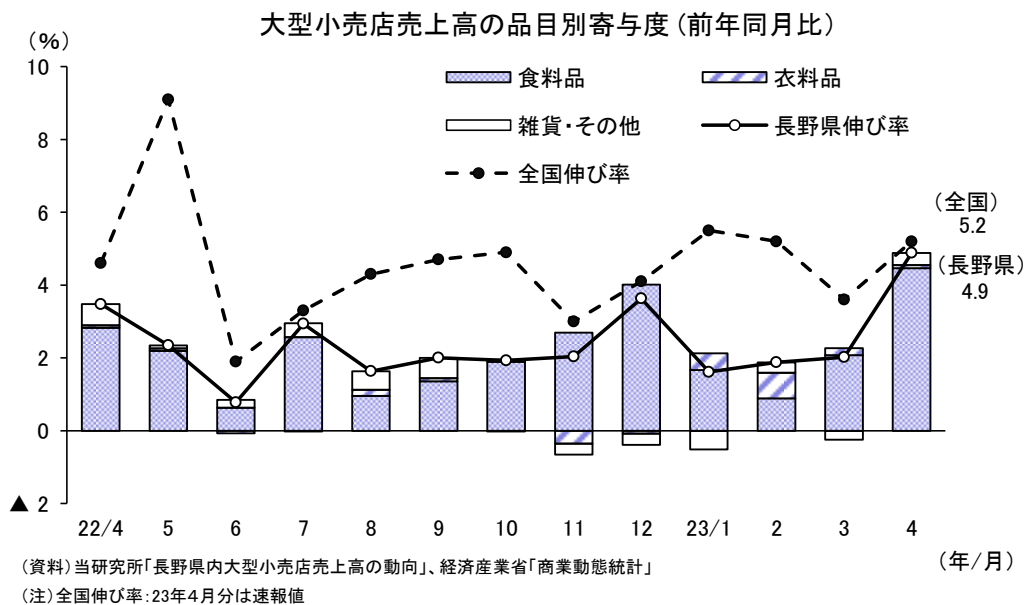
生産は足踏みがみられる

- ・3月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△12.1%、季節調整済指数が前月比△1.4%となった。
- ・原指数は3カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を下回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「輸送機械」、「食料品」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが前年を下回った。



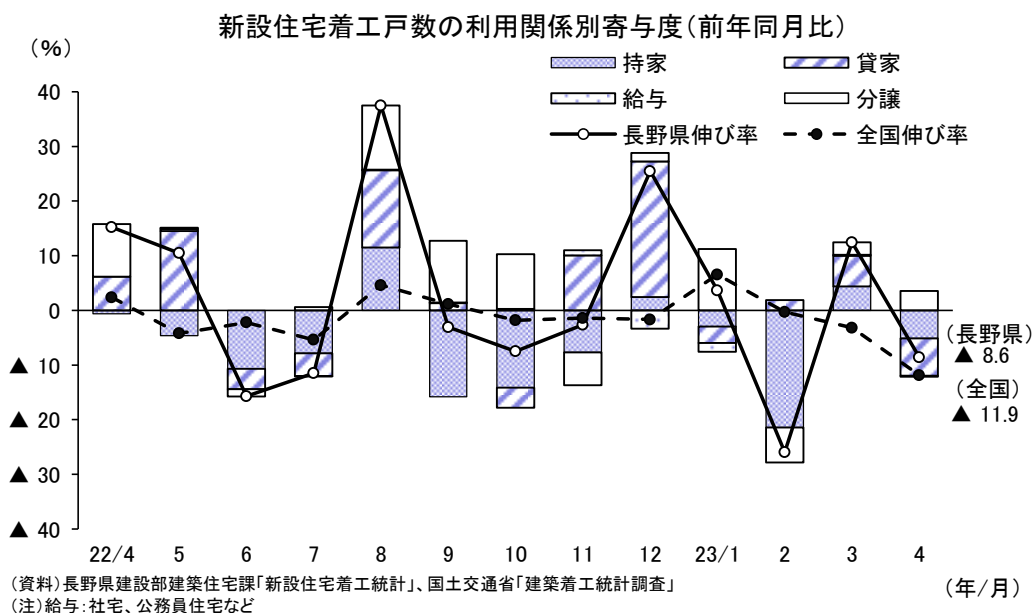
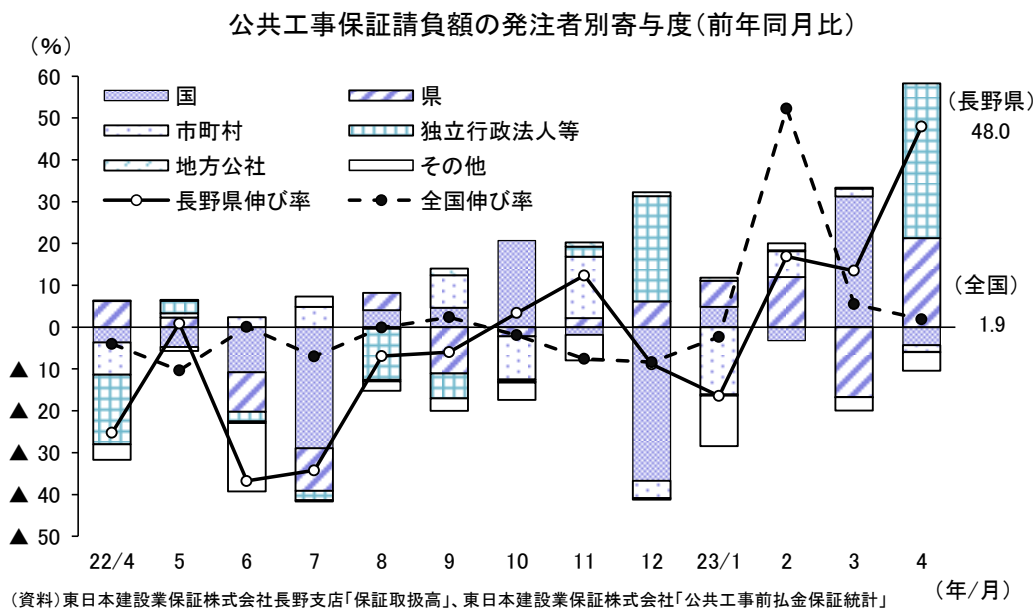
乗用車新車販売は4カ月連続で前年を上回る

- 4月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.9%（売場面積調整前）となり、19カ月連続で前年を上回った。食料品は、来店客数が増加したほか販売価格の上昇などもあり、同+5.2%となった。衣料品は、外出機会の増加に伴い春物が堅調で、同+1.6%となった。雑貨・その他は、身の回り品や化粧品などの売り上げが増加し、同+3.6%となった。
- 4月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善し、前年同月比+16.8%と4カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、軽自動車は同+11.0%と8カ月連続で、普通車は同+31.4%と9カ月連続で、小型車は同+8.2%と4カ月連続で前年を上回った。



公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を上回る

- 4月の公共工事保証請負額は、前年同月比+48.0%の387億5,600万円となり、3カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、国が同△60.1%、市町村が同△5.4%、地方公社が同△50.3%、その他が同△89.7%と減少したものの、県が同+45.1%、独立行政法人等が同+354.2%と増加した。
- 4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△8.6%の873戸と2カ月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、分譲が同+16.9%と増加したものの、持家が同△8.8%、貸家が同△33.7%、給与が同△66.7%と減少した。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

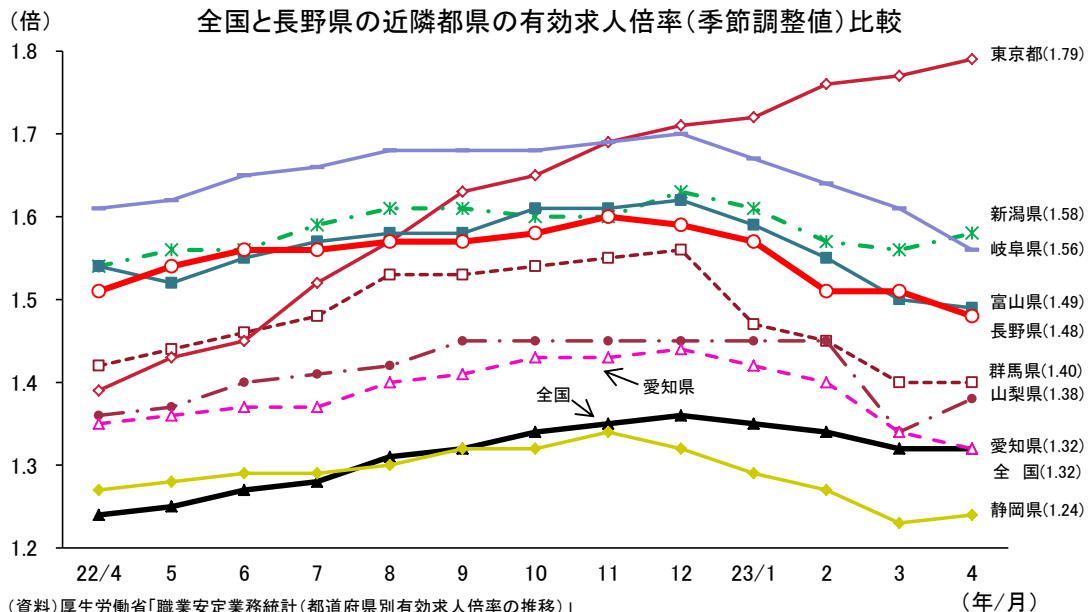
有効求人倍率は31カ月連続で全国を上回る

- ・4月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.06ポイントの1.30倍、東信が同△0.05ポイントの1.42倍、中信が同+0.10ポイントの1.48倍、南信が同△0.04ポイントの1.41倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、飯田が1.51倍と最も高く、次いで松本が1.50倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は31カ月連続で全国を上回り、順位は前月より3つ下げ12位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年4月)

| 地域 | 北 信(1.30) (前年同月比▲0.06) | | | | 東 信(1.42) (前年同月比▲0.05) | | 中 信(1.48) (前年同月比0.10) | | | 南 信(1.41) (前年同月比▲0.04) | | |
|-----------------|---------------------------|--------|------|--------|---------------------------|--------|--------------------------|------|------|---------------------------|--------|--------|
| | 長野 | 篠ノ井 | 飯山 | 須坂 | 上田 | 佐久 | 松本 | 木曾福島 | 大町 | 飯田 | 伊那 | 諏訪 |
| 全 数 | 1.33 | 1.17 | 1.47 | 1.26 | 1.37 | 1.47 | 1.50 | 1.46 | 1.28 | 1.51 | 1.30 | 1.41 |
| 前年同月比 (ポイント) | ▲ 0.03 | ▲ 0.23 | 0.20 | ▲ 0.10 | 0.02 | ▲ 0.13 | 0.08 | 0.09 | 0.16 | 0.17 | ▲ 0.19 | ▲ 0.08 |
| うち常用 | 1.21 | 1.13 | 1.43 | 1.16 | 1.27 | 1.40 | 1.27 | 1.35 | 1.21 | 1.44 | 1.15 | 1.35 |
| 前年同月比 (ポイント) | 0.00 | ▲ 0.20 | 0.20 | ▲ 0.07 | 0.05 | ▲ 0.13 | 0.09 | 0.04 | 0.05 | 0.17 | ▲ 0.13 | ▲ 0.06 |

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」
(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」
(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む
2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県